

を再評価してやると、金属量の多少にかかわらず、球状星団の年齢はほぼ一定となる。つまり、こと座RR星型変光星の絶対等級が金属量によって異なっているのであれば、球状星団の間の年齢差 (>10⁹年) は消失する。

この結果は、近年の斉尾 (1977)、デマルクとマクルール (1977)、カーニイ (1980) の評価 (月報10月号表紙) とまっこうから対立するものである。

《絶対等級の違いの原因》

しかしながら、恒星進化論にしたがえば、こと座RR星型変光星=水平分枝星の絶対等級は金属量にはほとんど影響されない。水平分枝星の絶対等級を大きく変え得るのはヘリウム量のみである。ヘリウム量が多いほど、

水平分枝星は明るくなる。したがって、サンデーの主張を支持するためには、金属量の少ない球状星団ほどヘリウム量が多い、すなわち、直観とは逆の相関が球状星団の金属量とヘリウム量との間に存在している必要がある。

サンデー自身も、こと座RR星型変光星の絶対等級の違いの原因として、いま述べた、金属量の少ない球状星団ほどヘリウム量が多いという系統的な相関を想定しているが、そのような相関がどのように形成されたか、あるいは、形成され得るかについては何も語っておらず、球状星団の年齢差の問題がこれで解決されたとはいえない。(有本信雄)

賛助会員名簿

(1983年1月5日現在の国会賛助会員は下記のとおりであります。ここに社名、代表者名を掲載させて頂いて感謝の意を表します。(五十音順))

旭光学工業株式会社	松本徹	地人書館	中田威夫
朝日新聞社科学部	木村繁	天文博物館	
アストロ光学工業株式会社	滝沢磐	五島プラネタリウム	五島昇
岩波書店	緑川享	東京電力株式会社	平岩外四
宇宙開発事業団	山内正男	東北電力株式会社	若林彊
大阪市立電気科学館	辰己博	長瀬産業株式会社	
沖電気工業株式会社	柏倉業	コダック製品事業部	田川敏
カールツアイス株式会社	波木泰雄	ナルミ商会	村上俊男
河出書房新社	清井忠夫	日本光学工業株式会社	小秋元隆輝
関東電気工業株式会社	高森圭介	(社)日本測量協会	宮地政司
(株)教育社	高笠井康弘	(財)日本地図センター	宮地政司
国際文献印刷社	松本喬	日本通信機株式会社	川島穰
啓文堂松本印刷	佐竹久男	日本特殊光学	山田坂雄
恒星社厚生閣	五藤隆一郎	富士通株式会社	
五藤光学研究所	飛田利一郎	システム統轄部	三次衛
コロンビヤ貿易株式会社	金光鑑太郎	丸善株式会社	飯泉新吾
金光教本部教庁	堀家邦郎	三鷹光器株式会社	中村義一
サンシャインプラネタリウム	林智雄	三菱電機株式会社	
住友信託銀行吉祥寺支店	小川茂男	宇宙開発部	野村正彦
誠文堂新光社	関	ミノルタカメラ株式会社	田嶋英雄
関商事株式会社			

1982年11月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

1	6, 51	6, 12, 39	11, 12, 53	16, 9, 122	21, 8, 110	26, 7, 37
2	8, 52	7, —, —	12, 9, 61	17, —, —	22, 8, 92	27, 9, 37
3	8, 46	8, 14, 68	13, 8, 85	18, —, —	23, 9, 75	28, 8, 52
4	—, —	9, —, —	14, 9, 107	19, 9, 105	24, 8, 67	29, 7, 38
5	—, —	10, —, —	15, —, —	20, 8, 99	25, 8, 46	30, 8, 60

(相対数月平均値: 112.0)

昭和58年1月20日	発行人	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
印刷発行	印刷所	〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町251	啓文堂 松本印刷
定価 300円	発行所	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
		電話 三鷹 31局 (0422-31) 1359	振替口座 東京 6-13595